



下大和田谷津田だより



2003年8月号

第26回谷津田プレート・プロジェクト(YPP) 谷津田の生きものとあそぼう& 田の草取り

7月19日 曇り

いっこうに明ける気配のない梅雨に天気心配されましたが、朝の小雨もすぐに止んで、たくさんの子どもたちと予定どおり生きもの遊びができました。

今年はカブトムシの当たり年なのでしょう。クヌギやヤナギの樹液にクワガタムシと一緒にたくさん集まっています。木に止まっているカブトムシを見るのは初めての子どもがほとんどで、小さな子も顔を近づけてじっと見入っていました。お母さんたちも子どもに負けないほどの歓声！捕まえたカブトムシの小ツノに糸を結んでの綱引きを見ている子どもたちの手には思わず力が入ります。カブトムシを羽ばたかせて「扇風機！」何て言う遊びも。

メインイベントは「カエルもみんなもジャンプ大会」。めいめい捕まえてきたカエルの体長を測って、その何倍跳べるかを競うものです。なかなか飛ばないカエルにやきもき。大きくジャンプすると拍手と歓声があがりました。カエルだけでなく本人もジャンプして、カエルのすごさを実感しました。最後に子どもたちは全員がいろいろな賞の賞状をもらって満足。

谷津田に暮らす生きものは子どもたちの格好の遊び相手です。時に残酷な遊びもしますが、そうした体験を通して、生きものへの愛情が生まれ、命の大切さをしっかりと身につけることと思います。

今回は生きもの遊びと並行して、田んぼの草取りもしました。ご協力して下さった皆さん、有り難うございました。お陰様で、田んぼがとてもきれいになりました。

(参加者：大人18人・高校生1人・小学生7人・乳幼児6人、報告：高山邦明)

第42回「下大和田谷津田の 観察会とゴミ拾い」報告

7月6日

あいにくの雨となってしまいました。観察された開花植物は次のとおりです。

イヌガラシ、オニノゲシ、キツネノボたん、クサノオウ、コナスビ、コマツヨイグサ(マツヨイグサ?)、シマスズメノヒエ、シロツメクサ、セイヨウタンポポ、セリ、タカトウダイ、ツククサ、トキワハゼ、ナガバギシギシ?、ネジバナ、ノゲシ、ノブドウ、ノミノフスマ?、ハエドクソウ(ナガバハエドクソウ?)、ハキダメギク、ハハコグサ、ハルジオン、ヒメジョオン、ヘビイチゴ、ホタルブクロ、ミツバ、ヤブタバコ、ヨウシュヤマゴボウ

(参加者：大人2人、報告：内山武明)

下大和田季節のたより

7月5日 ウスバトシが乱舞、クヌギやヤナギにクワガタムシやクワガタが姿を現す。草原にいるたくさんのカクガムシはまだ小型。早くもヒグラシの鳴き声が出た。夜、水路や田んぼにヘビトシが飛ぶ。

7月12日 蒸し暑くなり、今年初めてニヒミミの声を聞く。

7月13日 クヌギにノギリクワガタ出現。グンと生長した稲の間で花の白い花を見つける。

7月21日 田んぼからマイアヒがたくさん羽化。オオカブトの姿も見られる。地元の方がクヌギ釣りの餌となるザリガニやドジョウを捕っていた。アマガサ(イタダキ)の花が咲き始める。

7月29日 稲が出穂し、小さな花を開き始める。遅れている梅雨明けが待ち遠しい。ウスバトシがひらひらと水路を飛ぶ。

長梅雨に低温で農作物への影響が心配です。ようやく真夏の太陽が顔を出してくれましたので、これから何とか回復して欲しいですね。穂を出し、花を咲かせはじめた稲にしっかりと米が実ってくれることを祈っています。

高山邦明